

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国語 A I	
科目基礎情報							
科目番号		0001		科目区分	一般 / 必修		
授業形態				単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		生産デザイン工学科 (共通科目)		対象学年	1		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		『精選 現代の国語』 (明治書院)、『精選 『テーマ別 漢字&語彙の徹底攻略2500+』		言語文化』 (明治書院) (東京法令出版)			
担当教員		新任 ,木本 拓哉					
到達目標							
1. 論理的な文章を読み、構成や展開に基づいて論旨を理解し、要約することができる。 2. 文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。 3. 短歌・俳句・現代詩の表現を学び、自ら創作できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		論理的な文章の構成・展開を正しく理解し、要約した上で、自分の意見を表すことができる。		論理的な文章の構成・展開を正しく理解し、要約できる。		論理的な文章の構成・展開を理解、要約することができない。	
評価項目2		文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。また、代表的な文学作品の日本文学史上における位置を理解できる。		文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。		文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などの効果を説明できない。	
評価項目3		短歌・俳句・現代詩の表現を学び、熟語・ことわざ・慣用句などの知識を活用し、自ら創作できる。		短歌・俳句・現代詩の表現を学び、創作できる。		短歌・俳句・現代詩の表現を学び、創作することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 E① 歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。							
教育方法等							
概要		社会生活に必要な国語の理解能力・思考力・鑑賞力を養い、心情を豊かにして、言語活動の向上を図ることを目的とする。授業では現代文 (参考として古文、漢文も含む) を読解することで、言語文化に対する関心を深め、多角的な視点で考える力を養う。また、語句学習・漢字学習を通して基本的な知識を身につけ、表現力・文章力を磨く。					
授業の進め方・方法		次回学習する単元を予習してくる。配布するプリント類を整理すること。問いに対して簡潔明快な答えで応答すること。					
注意点		①次回学習する単元を予習してくる。②配布する参考資料や課題などを各自整理すること。③問いに対して簡潔明快に答えること。また、自分の意見を積極的に述べるよう努めること。④辞書類、国語便覧を活用し、積極的に疑問を投げかけてほしい。⑤漢字検定4～2級程度の読み書きができる語彙力を養うため、授業では語彙小テストを実施する。⑥常に「興味を持つ」「疑問を持つ」「問題意識を持つ」ことを心がけること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業の目標と概要の説明。国語を学ぶ意義について述べるができる。		
		2週	随想 (1) — 随想を読む①—		随想を読み、構成を説明できる。		
		3週	随想 (2) — 随想を読む②—		随想を読み、筆者の主張・感じ方を説明できる。		
		4週	随想 (3) — 随想を読む③—		筆者の考え、心情を正しく読み取り、文章を要約できる。		
		5週	評論 (1) — 評論文を読む①—		評論全体を読み、要約できる。 第1段落の内容を説明できる。		
		6週	評論 (2) — 評論文を読む②—		第2, 第3段落の展開を説明できる。		
		7週	評論 (3) — 評論文を読む③—		第4段落を読み、評論全体を通しての筆者の主張を説明できる。		
		8週	中間試験		1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を確認する。		
	2ndQ	9週	短歌・俳句 (1) — 短歌を読む①—		試験の内容を理解し、不正解だったところはやり直しをして理解する。 近代短歌・俳句の概要を説明できる。		
		10週	短歌・俳句 (2) — 短歌を読む②—		作品の鑑賞・読解を述べることができる。		
		11週	短歌・俳句 (3) — 短歌を詠む—		短歌を詠み・相互に鑑賞と評価ができる。		
		12週	小説 (1) — 小説を読む①—		小説の作者と作品成立について説明できる。		
		13週	小説 (2) — 小説を読む②—		小説の第1段落を読み時間、空間、人物について説明できる		
		14週	小説 (3) — 小説を読む③—		第2～3段落を読み、登場人物の心理と小説の表現を捉え説明できる。		
		15週	小説 (4) — 小説を読む④—		第3～4段落を読み、小説の主題を説明できる。		
		16週	定期試験		9～14週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文社会科学	国語	国語	論理的な文章（論説や評論）の構成や展開を的確にとらえ、要旨・要点をまとめることができる。	1	
				論理的な文章（論説や評論）に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	1	
				社会生活で使われる語彙（故事成語・慣用句等を含む）を増やし、思考・表現に活用できる。	1	
				専門の分野に関する用語を論理的思考・表現に活用できる。	1	
				文学作品（小説・随筆・詩歌・古典等）を文脈に即して鑑賞し、そこに描かれたものの見方や登場人物の心情を説明できる。	1	
				言語的・文化的教養（語彙・知識等）に広く関心を持ち、そこで得られた知識や考え方を効果的な表現に活用できる。	1	
				言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深め、自己を客観的に捉えたり自分の意見を述べるができる。	1	
				常用漢字を中心に、日本語を正しく読み、表記できる。	1	
				実用的な文章（手紙・メール等）を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集し、それを整理、分析できる。	1	
				整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開、表現方法を工夫し、報告・論文を作成できる。	1	
				作成した報告・論文の内容及び自分の思考や考察を資料（図解・動画等）にまとめ、的確に口頭発表できる。	1	
				課題や条件に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	前5,前6,前7
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	前5,前6,前7

評価割合				
	試験	小テスト	演習・レポート	合計
総合評価割合	70	10	20	100
基礎的能力	50	10	20	80
専門的能力	20	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0